令和7年度CASBEE届出建築物（高砂市受付分）

受付番号	建 築 物 名 称	建築用途	建 設 地	構 造 階 数 工事種別	工事完了予定日	評 価 結 果
7-2	（仮称）高砂新寮計画	集合住宅	高砂市荒井町新浜	RC造 地上4F 新築	2027年1月	B+
7-3	タクマ播磨工場 研究棟	事務所	高砂市荒井町新浜	S造 地上3F 新築	2027年3月	B+
7-4	株式会社TRAIAL 高砂曽根店	物販店	高砂市曽根町	S造 地上1F 新築	2026年9月	B+

CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.1

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)高砂新寮計画	階数	地上4F
建設地	高砂市 荒井町新浜二丁目2760－4	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	82 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	
竣工年	2027年1月　予定	評価の実施日	2025年9月18日
敷地面積	2,857 ㎡	作成者	中田
建築面積	747 ㎡	確認日	2025年9月19日
延床面積	2,477 ㎡	確認者	中田

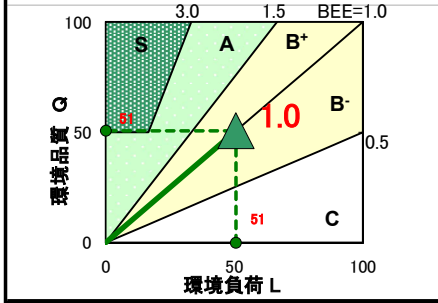
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ)

BEE =1.0

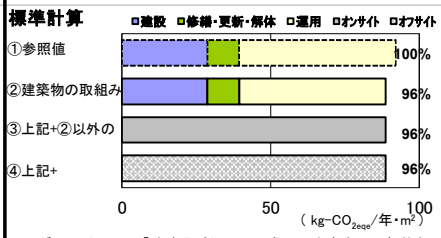
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響ﾁｬｰﾄ)

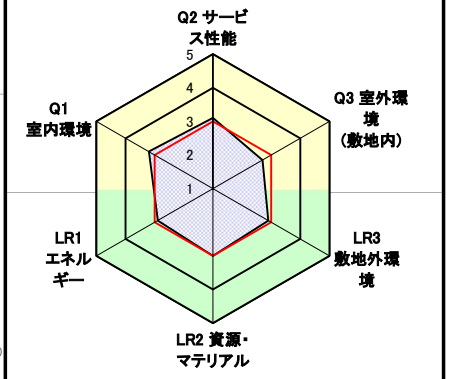


30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

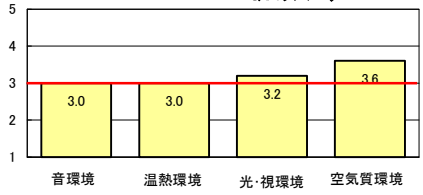
2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)



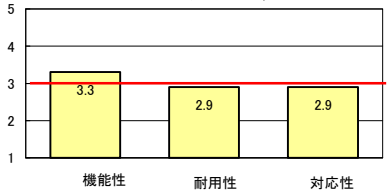
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

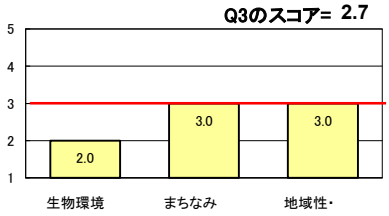
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.2



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

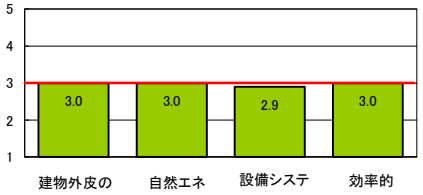


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.7

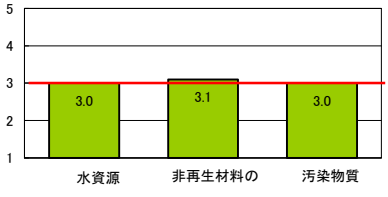


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.9

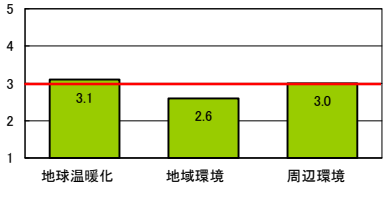
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 2.9



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.0



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.9



3 設計上の配慮事項

総合

・住棟内外及び住戸内は建物を利用するすべての人への安全と快適性に配慮した。

その他

0

Q1 室内環境

・各住戸内に十分な開口を確保している。
・建材は全てF☆☆☆☆以上を用いる計画とした。

Q2 サービス性能

階高を高くすることで、建物利用者の心理性や快適性を高めるように配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

・周辺のまちなみに配慮した景観とし、敷地内に緑化を行うことで、環境に配慮している。

LR1 エネルギー

・エネルギー消費低減に対して、一般的な建物と同程度の配慮をしている。

LR2 資源・マテリアル

・リサイクル材を使用する事で資源に配慮している。

LR3 敷地外環境

・自転車置場、駐車場スペースを十分に確保し、利用者にとっても分かりやすく、利用しやすい配置になっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要

建物名称	タクマ播磨工場　研究棟	階数	地上3F
建設地	兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目160	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし(法22条指定区	平均居住人員	0　人
地域区分	6地域	年間使用時間	0　時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月　予定	評価の実施日	2026年1月30日
敷地面積	138,461 ㎡	作成者	株式会社大建設計
建築面積	811 ㎡	確認日	
延床面積	2,261 ㎡	確認者	

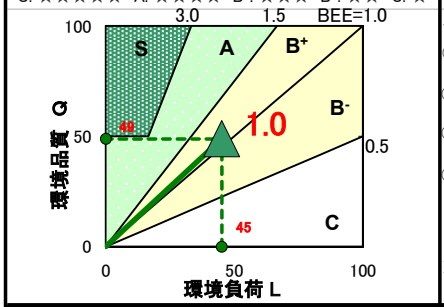
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.0

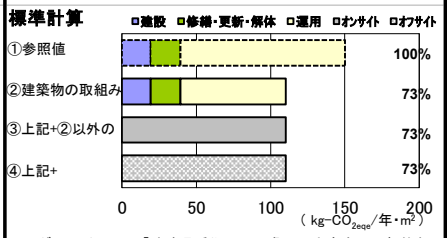
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

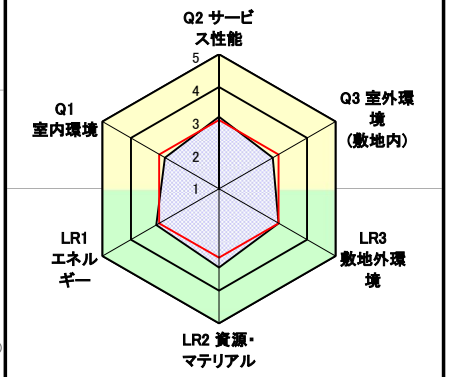


30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



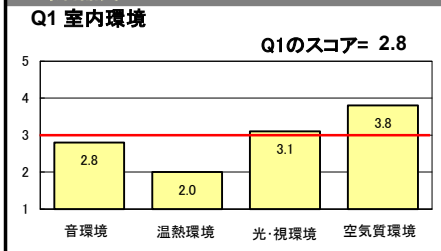
このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

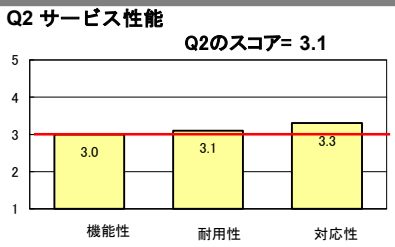
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

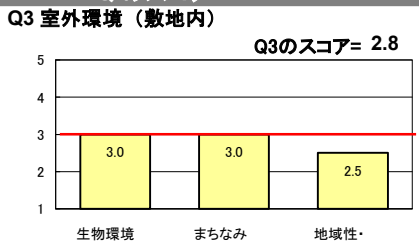


2-4 中項目の評価(バーチャート)

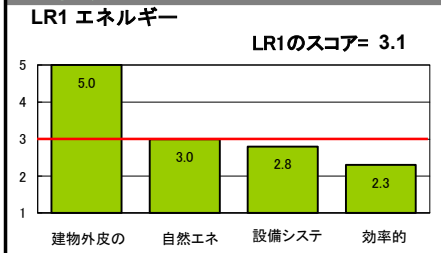
Q 環境品質　　Q のスコア= 2.9

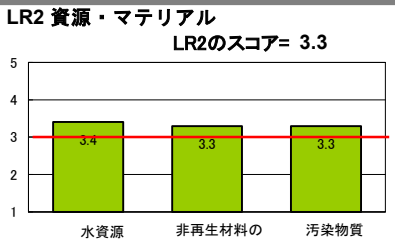


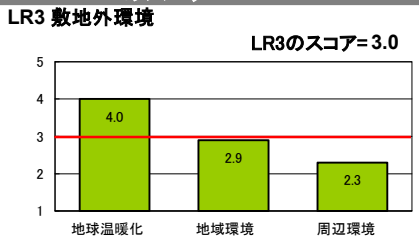




LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1







3 設計上の配慮事項

総合

働く人や周辺環境にやさしいサステナブルな研究所となるよう計画します。

その他

敷地内の他の建物や、周辺環境に調和するよう外観計画や内装計画に配慮した計画とした。

Q1 室内環境

研究棟は山陽電鉄沿いに位置するため、開口部の遮音性能を確保し、執務環境の向上を図った。

Q2 サービス性能

内外装とも耐久性の高い素材を使用することで、メンテナンス性の向上を図った。

Q3 室外環境（敷地内）

十分な緑視率を確保し、緑の景を発信できるよう配慮した。

LR1 エネルギー

議事録の作成、デザインレビューの実施し、発注者要件の実現を目指した。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル材料を使用することで、環境資源に配慮した計画とした。

LR3 敷地外環境

窓ガラスはLow-eガラスを採用するなど省エネ性能の向上を図った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)TRIAL高砂曽根店	階数	地上1F
建設地	兵庫県高砂市曽根町字入喜濱2526	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	2,700 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月　竣工	評価の実施日	2026年2月24日
敷地面積	15,756 ㎡	作成者	株式会社河村佐藤デザイン一級建築士事務所
建築面積	4,776 ㎡	確認日	2026年2月26日
延床面積	4,695 ㎡	確認者	株式会社河村佐藤デザイン一級建築士事務所

1-2 外観

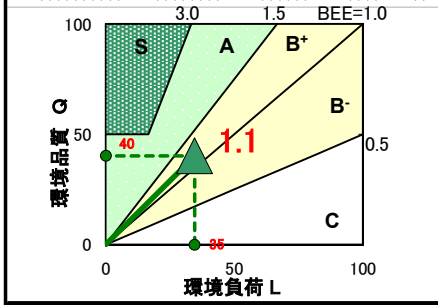


シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

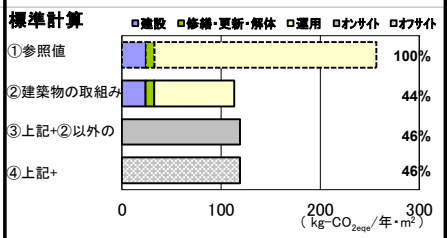
BEE =1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



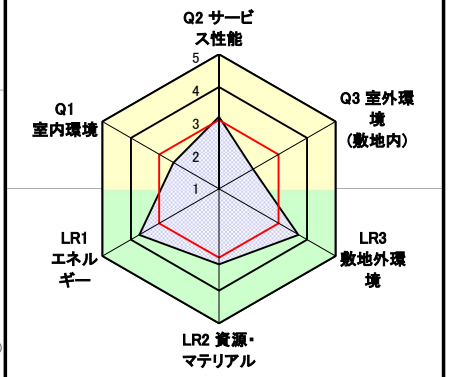
2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

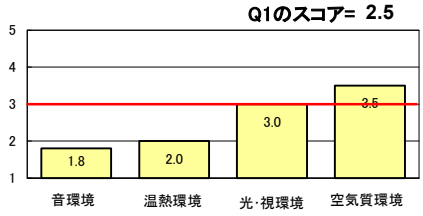
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



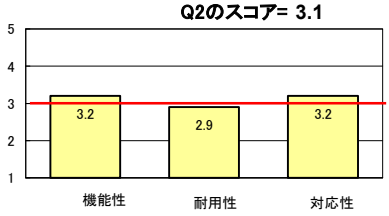
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.6

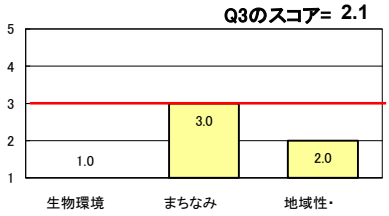
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.5



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

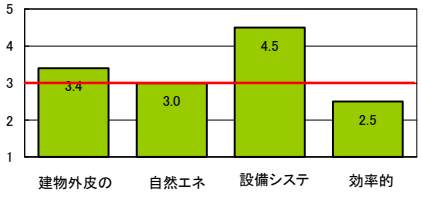


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.1

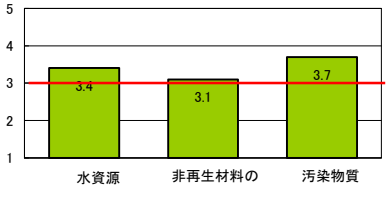


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.6

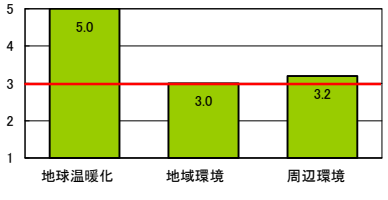
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.7



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.2



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.7



3 設計上の配慮事項

総合

不特定多数の方が利用する施設であるため、安全に配慮した設計を目指しております。

その他

特になし

Q1 室内環境

建築材料は全てF☆☆☆☆建材を使用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しております。

Q2 サービス性能

売場の天井高を高く設定することで開放的な空間としております。

Q3 室外環境（敷地内）

高温排熱の放出部を設置しないことで、敷地内歩行者空間等の暑熱環境緩和に配慮しております。

LR1 エネルギー

太陽光の機器を採用し、省エネルギーに努めております。

LR2 資源・マテリアル

固定コマだけではなく、節水コマを用いた省水型機器を採用することで水資源保護に努めております。

LR3 敷地外環境

適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、周辺の交通負荷軽減に配慮しております。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される